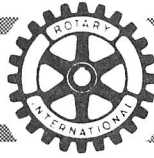


SERVE TO UNITE MANKIND!!
全人類を結びつけるために奉仕せよ!!

YAMATO-NAKA



ROTARY CLUB

大和中(仮)ロータリークラブ週報

事務所 大和中央1-5-40
及び 大和商工会館内
例会場 電話 0462(63)7926
例会日 毎週木曜日 12時30分より

会長 矢野久元 会報委員 土屋翁三
副会長 蜂屋良平 郡司 守
幹事 長谷川清一

仮 第6回 例 会 1978年6月22日(木)晴

司会 矢野会長

ゲスト

星 特別代表

ビジター

吉村 茂君(座間)

小沢 睦君、中里直巳君、山中勝義君、藤本孝君
小沢昭治君、小林一郎君、小林和世君、四元頼信
君、佐藤 孝君、吉利正勝君(大和)

会長報告

- 藤沢RCより地区協議会参加の御礼状が参っております。
- 予算表が出来ましたのでお配りしました。次の例会までには予算・各委員会の活動計画も出来る事になりましたので、来月よりは当クラブとしても勉強するだけの教室から一步を踏み出し、勉強し乍ら活動をする体制に移りたいと思いますのでよろしく願います。来月からは心構へとしては国際ロータリーの認証があったものとしてやって行く事にしたいと思ひます。

幹事報告

- 先週の例会後臨時理事役員会を開き一般会計予算表を作りました。7月からの活動はこの予算表に基いて行ってゆきますので御協力をお願いします。
- 7月6日の例会後クラブ協議会を行います。会場は一松亭で時間は6時から行います。
- 事業活動はすべて会費で賄いますので7月第一例会日に半期分納めて下さい。
- 今日お手元にロータリー入門の小冊子を差し上げましたのでよく勉強して下さい。

○ 国際ロータリー第259地区のガバナー事務所から為替レートについて連絡がありました。向う半年間は1ドル220円で7月1日から適用します。

○ 藤沢RCより永井路子著「相模のものふたち」という本が寄贈されました。回覧します。

委員会報告

スマイルBOX

大和RC小沢(睦)会長 所用のため早退させていただきます。

大和RC中里会員 大和中クラブにはじめて出席させていただきます。今後とも宜しく願ひ致します。

大和RC小沢(昭)会員 はじめて出席させていただきましたが、メイクアップが近くて便利です。今後とも時々利用させていただきますので宜しく願ひ致します。

大和RC小林(-)会員 大和クラブの小林です。はじめにお世話になります。今後とも宜しく。

大和RC吉利会員 はじめておじゃまを致します。どうぞ宜しく願ひ致します。

大和RC佐藤会員 はじめて出席させていただきます。どうぞ宜しく。

卓話

星 特別代表

- 先程7月6日にクラブ協議会を行う話がございましたが、先日のクラブ協議会は地区協議会が終ってからの協議会で当クラブでは主に親睦会

の様になりましたが今度の協議会はこれからの活動計画を練るもので各委員会の計画を話し合う会で2時間くらいを予定しています。

- 今日は去る12月6日に相模原中RCに卓話に來られた小堀憲助氏のお話をテープに取って来ましたのでおきき下さい。氏は「ロータリーの実体と批判」という書をかかれ「千草会」という主に理論勉強する会を主宰されている方です。

以下小堀氏のテープの要訳

- ロータリーとライオンズの区別がどこにあるのかというお話をしてみたいと思います。

奉仕クラブという考え方が出来たのは20世紀になってからの事です。奉仕クラブの最初のは1905年2月23日ロータリーの創立をもって始まる訳です。しかし創立当初は単なる親睦クラブで、各自のエネルギーを世の為、人の為に使おうという様な考えはありませんでした。1907年になって奉仕クラブとなった。ロータリーがその後盛えますとこれを真似るクラブがアメリカに沢山出来ました。日本に初めて来ましたのはYMCAの外郭団体が大阪に出来ました。その後昭和2、3年の頃フィリピンのマニラを経由してライオンズクラブが日本に上陸しました。

これらの団体は私はロータリーの垂流だと思っています。ロータリーが盛えたのでこれらの団体も常にロータリーに対する独自性を持つようになっています。会員もロータリーよりはるかに多いようです。ロータリーはライオンズを意識しておりませんが、ライオンズの方がロータリーを意識している様です。運動の展開方法がかなり違います。運動の基本が違い乍ら今日まで続いてきたロータリーとライオンズについてどの様な新しい傾向が出ているのかについてお話してみたいと存じます。

1905年2月23日にポールハリスがシカゴにロータリークラブを創設した因縁は何か。これは当時のアメリカの社会状況を分析してみる事が必要です。南北戦争以前農業主体だったアメリカがその後商品中心の社会になって行く農場の労働者が生活の安定を求めて工場に入る。商品の大量生産からこれをどこでさばくかと云々と都会しかない。都市集中化が始まる。これに都市行政がついてゆけない。住民意識が欠落したまま都会がむやみやたらに膨大する。住民意識をこの都市生活の中で取り戻そうという社会運動家が何人も出て来る。ポールハリスもこの中の一人であった。この運動の一環としてロータリークラブを創った。ハリスはその職業柄いろいろな人と接触する中で、自由競走の職業人が無原則的に心が破壊されてゆくのを見て何とかしなければならぬと考えた。キリスト教にその解決を試みたが駄目であった。1900年から5年間にいろいろと考えた末1業種1人

制の社交団体を作ること考え出した。当初は金持ちは居なかったが心の清い人だけを集めたのが成功の一因であった。心と心を通わせる仲間で親せき付き合いの様になり、何か買いたい物があったら仲間から買いなさい。しかし儲けてはいけない。こんな考えでやってゆくうちにだんだん商売が繁昌するようになった。1910年を越えるとロータリアンはシカゴの街に於て大実業家になった。ロータリーが盛え社会的信用を得るようになる。皆で助け合っているだけでなく我々のこのエネルギーを世の為人の為に使う事を考えた。世の為人の為にするには一体どうすれば良いか……、金銭的、物質的寄附などは駄目である。管理社会に於ける頂点に立つ人達が集まっておりますから、それぞれの違った発想なり経験なりをお互いに交換し合う事を考え出した。企業経験の違い発想を交換する。これを私は一騎当千論と呼んでいます。100人のロータリアンがそれぞれ意見を交換すれば10,000人の実力を得ることが出来る。1万力の力を持って地域社会のいろいろな問題に対処出来るようになる。これが地域社会がロータリーに求めているものであり、これ無くしてロータリーの独自性というものは考えられない。自分の発想と異なる発想をもつまわりのフェローロータリアンから学ぶ姿勢を持って貰いたい。これがロータリーの哲学です。

ロータリーの奉仕とは精神的奉仕を作り出す親睦活動であります。又、個人的奉仕でなければなりません。この理論が出来上るまで発足してから10年かかっています。

ここで話を雨後の竹のこクラブの方にもってゆきますが、これらのクラブ中にはロータリーに負けないような自力を持って発展したクラブもあります。一番大きなクラブは1912年に出来たエクステンジクラブです。次がキワニスクラブです。その他沢山のクラブがありますがそれを連合させたものがライオンズ国際協会です。メルビンジョーズが初代会長です。ここでライオンズはロータリーに負けてはいけない。という事で実践的奉仕という事を考えだした。実践的奉仕とはつまりお金を出す事です。個人的奉仕は致しません。団体奉仕です。金銭的奉仕の故に毎週例会せずに隔週例会にしています。ロータリーは自己研鑽ですから毎週開き出席を重んじます。自分が例会に出て企業経験の違い他の職業人から良質な発想の中に自分が学ぶものを求めそれを自分が学び得て自分の社会生活その他に適應する為に例会があるのですから一週間一回の例会を否定することが出来ないのです。一人一人の職業人の自分の企業家としての腹がまえを作り、自分の企業の競走力を高め、高めた上の延長上に地域社会をばんばん潤すという基本構想を持っています。ロータリーが盛えたのはこの基本構想です。

出席報告

会員数	22名	出席22名	出席率100%
前回の修正	100%	メークアップ	小菅、松本